

自民党新四役人事・福田新内閣人事についての会頭コメント

主要ポストに経験豊かな方を配置し、安定感のある人事となった。臨時国会開会中でもあり、福田新総裁は「適材適所」と述べられたが、重要案件で民主党との調整に考慮した、即戦力となる現実的な選択をされたと思う。

新内閣には政局の安定により「改革と成長」を力強く推進し、一方で地方にも目を向け、「生活の安心と安定」を着実に実現していく布陣として期待したい。

福田新首相には強いリーダーシップと持ち前の粘り強さを発揮し、自民党四役、新閣僚との意思統一をはかるとともに、必要に応じて民主党とも議論を尽くし、一つ一つ問題を解決していくことにより、国民の信頼回復に繋げてもらいたい。

2007年9月25日
京都商工会議所
会頭 立石義雄